

目次

大阪市立大学「地域連携センター年報2020」発行にあたって	1
-------------------------------	---

2020年度 地域連携センターの概要

相談の流れ	2
組織図・施設・アクセス	3

2020年度 地域連携センター活動記録

活動実績	4
運営委員・運営委員会・部会開催実績	5
広報活動実績	6
相談受付実績	7

2020年度 地域連携事業の概要

地域貢献

● スタートアップ支援事業	8
● 「副首都・大阪」大学連携プロジェクト	9
● JR西日本×大阪市立大学「第2回まちのにぎわい創出アイデアコンテスト」	9
● 津波浸水区域外での災害時避難所確保計画策定に向けた調査・分析業務（湾岸8区）	10
● 西成情報アーカイブネット企画運営事業	10
● 地域防災力強化事業～未来につなぐ防災人材養成～チーム纏プロジェクト	11
● 第8回地域連携発表会 ～with/afterコロナで考えるつながりのかたち～	12

公開講座

● オンライン公開講座	13
● 第17回三大学連携事業公開講座「SDGs—いま考えるべき水の未来」	14
● 文化交流センター	14
● 近鉄文化サロン共催講座	14

小中高大連携

● 府大・市大 小中学生サマーラボ～おうちで学ぼう～	15
● オンラインプログラム	16
● 市大授業	17
● 高校化学グランドコンテスト	17

その他事業

● 博学連携事業	18
● 和歌山県の過疎地域における集落の維持・活性化と再編（データ利活用事業）	19

大学における地域貢献活動の取り組み

● 地域志向教育の取り組み	20
● 地（知）の拠点事業（COC+）継続事業	21
● 学生の地域活動	21
● 都市防災教育研究センター（CERD）	22
● 大阪市立大学附属植物園	23
● その他地域社会への貢献	23

地域連携事例編

相談申込書

大阪市立大学「地域連携センター年報2020」発行にあたって

平素より本学の地域連携センター事業にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

地域連携センターは、教育・研究と並び、大学の重要な使命である地域貢献を総合的かつ組織的に遂行するために2013年2月に開設されました。

この間、大学の窓口の一元化として広く地域からの相談を受け付けるとともに、本学の設置団体である大阪市との基本協定（2017年2月）をはじめとして近隣の区や自治体・団体等と連携協定を締結するなど、さまざまな地域との連携に取り組んでまいりました。その内容は、受託研究・受託事業として実施するものや他大学との連携事業など多様であり、得られた成果を地域に発信し、地域との更なる連携およびシンクタンク機能の強化を図っています。

さて、本年報前半では地域連携センターの概要及び2020年度における活動実績をご報告しています。各部会で行っている（1）地域貢献、（2）公開講座、（3）小中高大連携、の3つの柱ごとの取り組みやセンターで実施するその他事業をご紹介しますほか、本学における地域貢献活動の取り組みについてまとめています。

また、年報後半には「地域連携事例編」として、本学教員が行う地域と連携した研究・教育・活動の中より、30件の実践的な事例をご紹介します。これらの事例は、いずれも本学の各研究科・部局の教職員や学生などによって取り組まれ、その内容は多岐にわたっています。担当者たちの地域に対する熱い思いと、人知れぬ工夫が多くあることをご理解いただければ、と思います。

なお、大阪市立大学は2022年4月に大阪府立大学と統合し、大阪公立大学として新たな歩み始める予定です。

本年報が、公立大学最大規模の大学として発足する大阪公立大学と地域との、更なる連携へと発展していく上で活用されることを願っています。

2021（令和3）年7月

地域連携センター所長 宮野 道雄
（学長補佐（地域貢献担当））